

難病コース（定員：50名）

筋萎縮性側索硬化症（以下、ALS）は筋萎縮・筋力低下を主とした進行性の神経難病とされています。現在も、根本的な治療法は開発されておらず、進行に合わせて歩行障害、構音障害、嚥下障害、呼吸障害など様々な症状に対応する必要があります。また、在宅療養を選択する場合も多く、それを可能とするには様々な職種が関わり、連携を取る必要があります。

本研修では、医療・保健・福祉・介護に携わる支援者が、在宅医療における「ALSという疾患との関わり」、また「リハビリテーション・環境調整」等について学ぶことで、各職種の役割をより活かした支援へ結びつけることを目的に開催します。

【会場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日 時	内 容	講 師
令和3年 10月9日（土） 13:30～15:30 （受付 13:00～）	『ALSの在宅医療とリハビリテーション』	
	「ALSという疾患と在宅医療での関わり方」	医療法人赤橙 訪問診療クリニック六花 院長 橋本 司 氏
	「在宅療養でのリハビリテーション・環境整備について」	社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団 横浜市総合リハビリテーションセンター地域支援課 主任 （理学療法士） 田治 秀彦 氏

●対象者：医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、介護職、ケアマネジャー等神経難病患者の支援に携わっている方々

●申込締切り：令和3年10月1日（金）まで 【先着順】

★お申し込みは、下記の受付フォームより行ってください。

（URL、QRコードよりアクセス可能です）

申し込みをされた方に、Web会議(zoom)のミーティングID・パスワード等をメールでお伝えします。

QRコード

URL：<https://forms.gle/MPeChoZqEe7BVGaa8>



※日本医師会生涯教育制度2単位申請予定
※日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定（1ポイント）

担当：奥村